



①紙すきの道具を使って、繊維が均一になるように。②紙の色付作業。切った折り紙をすいた紙の間に挟んで模様を作ります。③乾燥用の金属の壁の上に濡いた紙を貼り、ローラーでシワを伸ばします。④世界で一枚のオリジナル和紙の完成！⑤お母さんに教わりながらのピザ生地こね。

暖炉の火を利用して手作りピザ作り  
お部屋には暖炉があり、お風呂焚きの炉も兼ねています。こちらの火を利用して畑で収穫した野菜ピザを作りました。



農家民宿「響」の畑で野菜収穫体験！  
民宿「響」ではご主人に教わりながら野菜を収穫しました。大根や白菜、人参やブロッコリーなど、さまざまな野菜を収穫できて子どもたちも大喜び。



実施日：12月2日(土)～12月3日(日)  
宿泊先：農家民宿「響」  
旅行日数：一泊二日  
集合解散：現地(マイカー利用)  
体験内容：①季節の野菜収穫体験 ②ピザ作り

千葉県在住の川上さんご一家が、常陸大宮市で茨城県伝統工芸品の「西ノ内紙」の紙すき体験や野菜の収穫を体験。  
一日目は、常陸大宮市の「五介和紙」で「西ノ内和紙」の紙すき体験に挑戦。工房では紙すきく模様つけ乾燥までの基本的な和紙作りの行程が体験できます。職人さんに優しく手伝ってもらいながら、兄弟で交代しながら作業を体験しました。  
昼食には同じ敷地内にある「手打うどんそばかみや」で常陸秋そばやうどんを。地元野菜の天ぷらのポリウムにみんな大喜び。  
紙すき体験の後は今晩のお宿、農家民宿「響」へ。入り口の薪置き場には大根や玉ねぎなどの野菜が干され、農家の雰囲気漂います。早速、宿の畑で野菜の収穫に挑戦。  
夕食は、暖炉で焼く手作りピザ。畑で収穫した野菜をふんだんにのせて、お宿自慢のピザソースでいただきます。  
「同じ関東ですが、千葉とはまた違った風景と雰囲気がありますね。子どもたちと紙すき体験や野菜の収穫ができて、楽しい時間を過ごすことができました。是非また来たいと思います」とお母さん。十分に茨城の魅力を感じていただけたようです。

国や県の無形文化財にも指定されている西ノ内紙の紙すき体験

こすけ五介和紙

清流と良質の楮に、手作りの伝承技術をもつ名人漉き手の織り成す伝統工芸品「西ノ内和紙」を販売しているほか、紙すき体験(要予約)もできます。

常陸大宮市山方 1323  
☎ 0295-57-6647



気ままな田舎暮らしを体験できる宿

農家民宿「響」

地域で古くから栽培されてきた葉たばこの栽培小屋を改築し、柱・家具・浴槽などに地元のヒノキを使った自然派民宿。

常陸大宮市響子 497  
☎ 0295-58-2702

